

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	白井 健太	学校名	神戸市立丸山ひばり小学校
実施学年	3年生	教科	国語
単元名	場面をくらべながら読み、感想を書こう(教材名:ちいちゃんのかげおくり)		

### 《学びを深めたいポイント》

- ・登場人物の心情を、場面の様子や登場人物の行動などの叙述に即して考える。
- ・場面ごとの、登場人物の心情の変化についてとらえる。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

#### ①「気づきメモ」の活用

叙述に即して場面ごとの登場人物の心情を捉えるために、気づきメモを活用した。まずは個人個人で、文中の表現と、そこから読み取ることができる登場人物の心情とを気づきメモに入力させた。心情を読み取りにくい児童や、自分の考えに自信がもてない児童も、他の児童の気づきメモを参考にして、入力することができた。また、自分ひとりでは気がつかなかった叙述や考えを見つけることができた。

#### ②発表ノートのライブ公開提出箱による他者参照

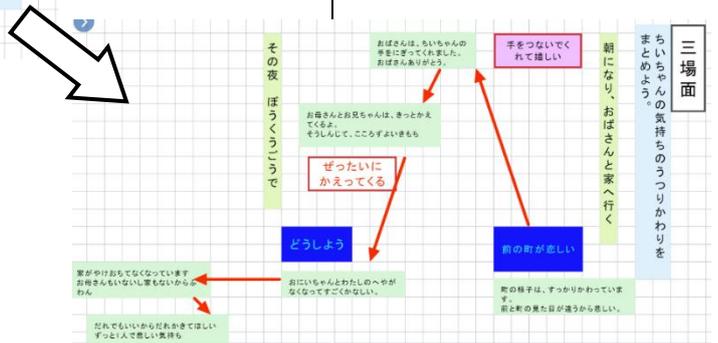
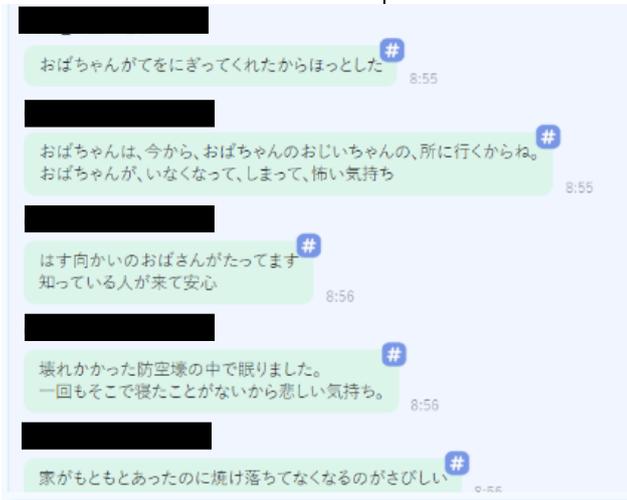
自分や友達の気づきメモをもとに、場面内の登場人物の心情の変化を図示させた。最初の活動で入力された気づきメモの中から、心情の変化を捉えやすいメモを選択し、それを自分の発表ノート上で整理させた。発表ノートでの作業は、児童によって習熟の差が大きく、なかなか手をつけられない児童もいたが、ライブ公開提出箱を活用することで、他の児童のスライドを参考にしながら進めることができた。

#### ③画面一覧による学習進度の把握

発表ノートでの作業の際は、教師側は画面一覧によって、リアルタイムで児童の進捗を確認することができる。それを活用して、児童の良いところを全体に広めたり、困っている児童に助言を行ったりした。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 本時のめあてについて確認する。	・前時までに作成した発表ノートを見返すことで、これまでのちいちゃんの心情の変化について確認する。	
3場面のちいちゃんの気持ちのうつりかわりをまとめよう			
展開	<p>2. 3場面のちいちゃんの気持ちについて考える。</p> <p>3. ちいちゃんの気持ちの変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の様子がすっかり変わって、呆然としている。</li> <li>・おうちのところにおかあちゃんとお兄ちゃんがいてくれていると信じている。</li> <li>・家が焼け落ちていて、悲しきでいっぱい。</li> <li>・家族にもう一度会いたい強い気持ち。</li> </ul> <p>4. ちいちゃんの気持ちの変化についてまとめる。</p>	<p>・気づきメモに、ちいちゃんの心情が想像できる叙述と、そのときの気持ちをを入力させる。</p> <p>・友達や自分の気づきメモの中から、心情の変化に関わるメモを選び、自分の発表ノートに移す。</p>	<p>・教師も児童の気づきメモを見ながら、個別に声掛けをしたり、大事な叙述に気付いている児童を全体に広めたりする。</p> <p>・全体での話し合いをもとに、気づきメモの付箋を並べ替えたり、矢印をつけたり、言葉を付け加えたりして、心情の変化を図示できるようにする。</p>



<p>まとめ</p>	<p>5. 3場面で、特に心に残ったところをまとめる。</p>	<p>・発表ノートに枠を用意しておき、特に心に残ったことについて、文中の言葉を使って記入させる。</p>	<p>・スライド内に、使ってほしい文の型を載せておくことで、いつでも参照しながら書くことができるようにしている。</p>
------------	---------------------------------	--	--

三場面

この場面で、あなたの心に残ったことはどんなことですか。ちいちゃんの様子や気持ちが分かる言葉を使って書きましょう。

使ってみよう

〇〇のところを読んで、わたしは〇〇な気持ちになりました。理由は……

△△だと思えます。わたしは△△だと思えます。

わたしは〇〇と思いました。

私は、ここがお兄ちゃんとあたしの部屋。というところが心に残りました。なぜなら、ちいちゃんがおかあさんとお兄ちゃんがここに帰ってくると信じてたと思うからです。そしておばさんが心配してくれてもちいちゃんは深くうなずいたところも心にのこりました。

〇〇のところを読んで、わたしは〇〇な気持ちになりました。理由は……



《実践を振り返って》

・単元を通して、あえてほとんどノートを使わずに、発表ノートと気づきメモを活用して授業を行った。ノートやプリントに考えを書いていく方法が一般的だとは思うが、今回はあえて、デジタルに振り切って授業を計画してみた。ノートやプリントは当然それぞれの良さがあるが、今回の授業を通して、デジタルの良さも認識することができた。友達の考えたメモを、自分の手元に持ってきて作業をしたり、間違いや追加したいことをどんどん書き加えたり削除したりできるのは、デジタルの大きな利点だと思う。

・気づきメモにしる、ライブ公開提出箱にしる、他の児童のやっていることを児童同士でいつでも見ることができるとするのは非常に良かった。どのような活動をしていても、途中でどうしても手が止まってしまう子は必ず出てくると思うが、そういった児童にとって、他の友達の考えを見ることができるとするのは、かなり大きな助けになっていると感じた。今回の国語の学習だけでなく、他の教科でも積極的に活用していきたいと感じた。

・心情の変化という抽象的なものを図示するという活動は、3年生の児童には難しいと感じる部分があった。ただ、毎時間続けていく中で、上手に矢印をつけたり、字の色を工夫したりしてまとめる児童が増えてきた。工夫が見られた児童のスライドを紹介することで、真似してみよう、自分ならこうする、と、良いところを取り入れようとする姿も見られた。